

問題【国語】

次の言葉の意味を答えましょう。

- (1) 早起きは三文の得
- (2) 二束三文
- (3) 三文芝居

豆知識 雑学コラム

積み重ねれば大きな得

「早起きは三文の得（「徳」でも同じ意味で使われます）」という言葉聞いたことがあると思います。「早起きをするといいいことがある」という意味の言葉ですよ。現在、この言葉は特に早起きは健康に良いという文脈で使われることが多いですが、もともとはお金の損得から生まれた言葉です。では、その由来を見ていきましょう。

この言葉の由来は江戸時代の奈良にあったと言われていています。5代将軍綱吉の時代に生き物を大切にしなければならぬという「生類憐みの令」が出されていました。この「生類憐みの令」では家の前で、動物が死んでいると罰金を取られるという決まりがありました。とても理不尽な決まりですね。今もそうですが、奈良には鹿がたくさんいました。朝、役人が見回りに来た時に、家の前で鹿が死んでいると罰金を取られてしまいます。そこで、奈良の人たちは早起きをして、家の前にいる死んだ鹿を、家の前から遠くへと運んでいくことで難を逃れました。この時の罰金が「三文」だったことで、「早起きして、死んだ鹿を遠くへ運べば、罰金の三文を取られずに済む」という「早起きは三文の得」のことわざが生まれました。

さて、三文は今のお金でいうといくらぐらいだったのでしょうか。「売り値がすごく安い」という意味の「二束三文」や、「（安いお金を払う価値しかないぐらい）つまらない芝居」という意味の「三文芝居」などから考えると、三文はとても安いということが想像できると思います。一文が約100円で、三文だと約300円です。300円ぐらいなら全然たいしたことないから、早起きしてもあまり意味ないと思うかもしれませんが、1日300円、10日で3000円、1年で約11万円と考えるとばかにはできません。「早起きは三文の得」には、1日だけ早起きしてもすこししか得はないけれど、毎朝、早起きを積み重ねていくことで大きな得を得られるという意味も込められているのです。

【解答】

呂宋い

- (1) 早起きをするといいいことがある
- (2) 売り値がすごく安い
- (3) (安いお金を払う価値しかないぐらい)つまらない芝居